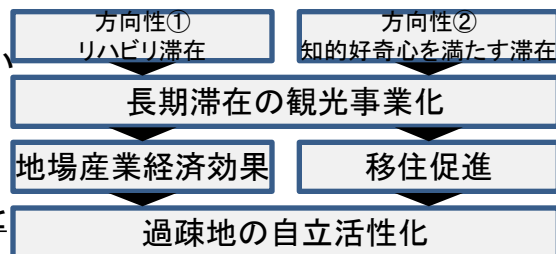


保養リハビリ滞在を導入し、地場産業振興と移住促進の連動事業

概要

- 旅行弱者対応の観光振興の過程で、知的好奇心の高い一部高齢者の「長期滞在ニーズ」に遭遇。
- 長期滞在は、移住に対するハードル「土地に不案内」「地元住民に知己が少ない」を低減させる(実例あり)。
- そこで、長期滞在の継続事業化により、地場産業振興と移住促進の両方で成果を生み、自立活性化を支援する。



沖縄県 久米島町



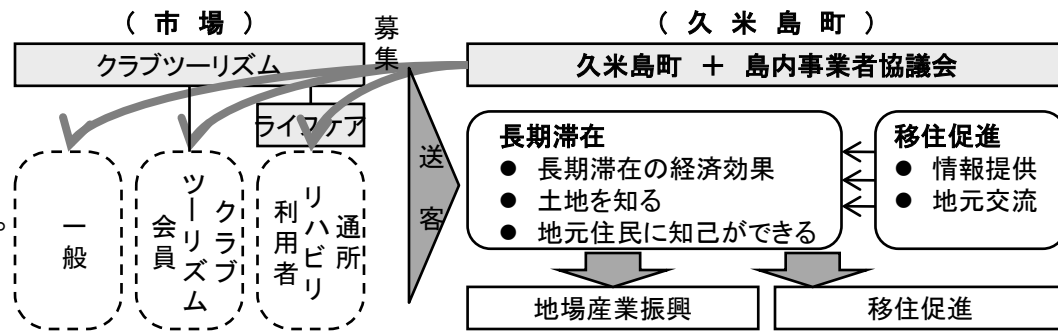
事業の内容

事業内容

- 地場産業への経済効果が大きい“長期滞在”を観光事業化・継続事業化。
- 長期滞在中の地元交流により、移住促進。
- 多数の高齢者を会員に抱えるクラブツーリズムと連携。

ポイント

一般的には事業化が難しいとされる“長期滞在”を観光事業化し、そこから観光振興・地場産業への経済効果・移住促進効果を生み出すことで、過疎地域を活性化する試みであり、“長期滞在”事業化の成否が全体の鍵を握る。



事業の成果

事業の成果: 平成22年度、この取り組みは大きな成果をあげ、事業の趣旨(上記「概要」下線部)を実現する第一歩が踏めた:

- “観光振興”・“地場産業経済効果”・“移住促進”実現の突破口である「長期滞在の観光事業化」の実現性が検証出来た。
 - 目標集客20名に対し、29名の誘致に成功。延べ泊数は259に達した。
 - 実証実験後意向調査において、半数の14名が“非常に満足”・11名が“満足”(5段階評価)。100点満点で100点をつけた参加者も3名いた。「来年も催行して欲しい」という声が複数の参加者からあがった。
- “滞在⇒交流⇒移住への関心”というサイクルの実現可能性が確認できた。
 - 滞在コンテンツを通じて、久米島の土地・文化・コミュニティへの関心が増大した。

今後の展開: ①滞在者誘致の量的拡大、②文化観光を取り入れた、滞在コンテンツの拡充、③統合窓口人材の業務内容の進化。